

## (資料8)

評価項目	8 業務の情報発信に関すること
当センターの状況 (概要)	<p>刊行物の発行は、パンフレットとメールマガジンを発行している。メールマガジンは平成22年7月に開始したばかりで、現在、HPや施設見学者等へ案内により、会員を積極的に募集している。</p> <p>ホームページのコンテンツ数は、メルマガや年報、研究員の成果報告などの定期的に蓄積されていく情報により、コンテンツ数は年々増加している。</p> <p>施設見学者数は、平成20年から22年までは7、8件程度であったものが、平成23年になって急増している。これは福島原発事故の影響で放射能への関心が高まったことから、放射線を測定できる当センターの施設見学や放射能に係る講演依頼を希望する団体が増えたものである。</p> <p>このほか、情報提供業務や講師派遣を行っている。講師派遣依頼は県行政機関以外だけではなく、県行政機関からも相当数ある。</p>
評価結果/評価の視点	<p>○総合評価 A 適当(2人)・B 要改善(3人)・C 不適當(0人)</p> <p>○評価コメント</p> <p>(1) 情報発信状況(対象、内容、方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジンの発信など情報発信に努力されている点は評価できますが、ホームページの改善が必要です。</li> <li>・HPに一般向けのページを設けたり、メルマガ、夏休みこども講座など努力している結果がアクセス数の増加に現れています。外部への情報発信の姿勢を評価します。</li> <li>・県民に向けてのさらなる情報発信が望まれる。</li> </ul>
センターの対応方針	<p>メールマガジンは開始後順調に発信を重ね、会員は2月末で202名と着実に増えており、一般公開等とあわせて、県民に向けての情報発信に一層努めていきます。</p> <p>また、職員を広報技法の研修に派遣するなどして、職員の広報技術の向上を図りながら、講師派遣や一般公開行事でいただく意見を参考にホームページの改善を行い、わかりやすい情報発信に努めていきます。</p>